

大津市追分町～大津市京町

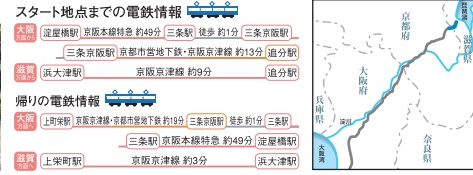
歩行距離 4.1km
標準歩行時間 51分
標準所要時間 2時間30分
(標準所要時間とは観光、休憩を含めた時間)

京都の三条へ向かう道と、大阪へ向かう道との分岐点に建てられた追分の道標を過ぎ、名神高速道路の高架を抜けて国道1号を歩きます。途中の交差点で国道161号に進み、そのまま直進して大津駅前ゴールである札の辻へ。「京町1」交差点に札の辻の碑があります。この付近では車の往來の激しい国道を歩くため、十分に注意しましょう。



逢坂の関

東海道・中山道・北陸道の3つの主要道路が集中する交通の要衝で、関所や峠を題材にした歌が多く詠まれています。「これやこのゆくもかえるもわかれれば知るも知らぬも逢坂の関」という蝉丸(せみまる)の歌は、百人一首にもなっています。



西国と京都をつないだ西国街道

神戸から西宮、北摂、乙訓地域を通して東寺口へ

灘五郷から当時の宿場町、西宮へ



JR三宮駅前から西国街道散策を開始。往時の面影を感じさせる社寺や目印となる道標一つひとつ確かめながら、神戸市内を歩きます。街道はここから芦屋市を抜けて西宮市内へ。灘から西宮にかけては「灘五郷」と呼ばれる、全国屈指の酒どころとして知られています。道中、伝統の味に触れてみるのも楽しいですよ。

西宮市の中心部にある西宮神社は、全国のえびす神社の総本社。「えべっさん」の名で、親しまれています。



郡山宿で往時のにぎわいを思う

茨木市内に入って、まず目につく郡山宿本陣は、西国街道全体の象徴ともいえる存在。その立派な門構えを見ていると、街道の宿のなかでも特ににぎわいを見せたといわれる郡山宿の往時の様子が目に浮かぶようです。「椿の本陣」とも呼ばれ、その由来となった椿は、現在も季節になると咲き誇ります。



参勤交代で栄えた芥川宿を歩く

高槻市に入ると、芥川一里塚から芥川橋までの間、約400mの道沿いに芥川宿の面影を見ることが出来ます。ここは高槻城に近く、大阪・兵庫・丹波への分岐点でもあったため、17世紀のはじめ徳川幕府により山崎道の宿駅として整備されました。参勤交代のために本陣が設けられ、旅籠屋も建ち並び、伝馬(公用の荷馬)も置かれ、大名行列や旅人らが

桂川を渡って、京都市内へ向かう

行き交う摂津の要地でした。幕末には、政変に取って長州に逃れる途中の三条実美ら七卿も、この芥川宿に泊まったといわれています。



秀吉と光秀の合戦地、山崎に行く

豊臣秀吉と明智光秀による「山崎の戦い」の地としても知られる山崎。天正10年(1582)に起こったこの戦いの舞台となったのは、山崎の背後にそびえる天王山の山麓でした。光秀側につく武將はほとんどおらず、戦いは秀吉側の圧勝に終わりました。秀吉が天下統一への道を歩み始めた天下分け目の地・天王山は、すべてを包み込むように静かにたたずんでいます。

